

また、三郡境の塚から倉谷宿間においても現道と重なる部分があるため、下郷町内の「下野街道」の整備対象は六ブロックに大別された。

(一) 各ブロックの整備

① 三郡境の塚から大内ダム(第一工区)

ア 現況

○ 沿道の文化財

三郡境の塚 大内峠の茶屋跡 一里塚 高清水

○ 旧道の現況

- ・道形は残るが一部は藪化している
- ・一部が作業道や県道で開削され、道幅が狭くなっているか若しくは無くなっている
- ・山側からの出水のため浸食されているヶ所が多い
- ・茶屋から高清水まではもう一筋の道形がある

イ 整備内容

- ・山側出水においては横断溝を設ける
- ・作業道で切られている部分に付いては取り付け道路を設ける
- ・藪化した場所は石畳の可能性もあるので人力による表土の除去とする
- ・落下防止のための柵の設置
- ・崩落ヶ所の土留め対策
- ・案内板、説明版の設置
- ・茶屋跡の発掘調査

② 大内ダムから大内宿(第二工区)

- ・茶屋から高清水までの道筋も調査する

ア 現況

○ 沿道の文化財

重伝建地区「大内宿」 櫻木姫墳 石造地藏群(道標)
二四人戦死の墓 笹沼金吾墓 高倉神社

○ 旧道の現況

- ・第二工区全体の二分の一がダム或いはダムサイトとなっている

・大内宿内の旧用水路は、現道ほぼ中央地下に保存している

イ 整備内容

- ・中央道路は土の仕様に戻したい
- ・旧用水路の復元整備を図りたい
- ・上記二点は地区民の理解が必要
- ・なお、第二工区については、大内地区周辺の道路網整備にあわせ、建設省「歩く道づくり事業」(建設課)により整備を進める

③ 大内宿南一里塚から沼山集落(第三工区)

ア 現況

○ 沿道の文化財

大内宿南一里塚 馬頭観音碑

○ 旧道の現況

- ・旧道は藪化し、歩行も困難である
- ・石畳の存在する可能性が大である
- ・道筋が何本も存在する
- ・小さな沢を渡る部分が二ヶ所ある
- ・南一里塚から五〇〇m区間は圃場整備地内となる
- ・路肩石積部分がある